

## 鳩山町農地バンク制度の利用方法

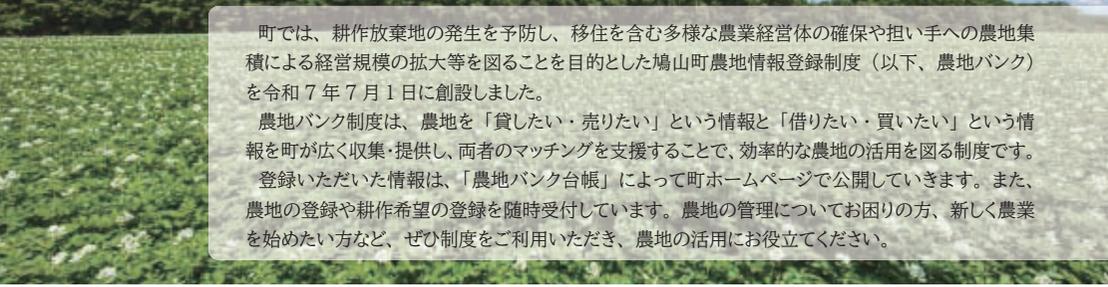
農地所有者等の手続	耕作希望者の手続
<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作ができなくなってしまった方</li> <li>相続した農地の管理にお困りの方など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営規模を拡大したい方</li> <li>新しく農業を始めたい方など</li> </ul>
<p><b>農地登録</b></p> <p>「農地バンク登録申請書」の提出 (登録できる農地)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①現に耕作の用に供される農地</li> <li>②適正な保全管理がされている農地</li> <li>③軽微な復旧作業によって、再生利用が可能と見込まれる農地</li> </ol>	<p><b>耕作希望登録</b></p> <p>「耕作希望者登録申請書」の提出 (耕作希望を登録できる人)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①農地を耕作し、地域の活性化に寄与できること</li> <li>②地域住民と協調して農業を営むことができること</li> <li>③継続的かつ安定的に耕作することが見込まれること</li> </ol>
<p><b>適正な維持管理</b></p> <p>耕作希望者が決定し権利の設定等が完了するまでは、適正な管理を継続</p>	<p><b>農地情報の照会</b></p> <p>農地バンク台帳に利用を希望する農地があったときは、農地所有者等の情報を町に照会</p>
<p><b>変更届等の提出</b></p> <p>登録情報に変更や抹消の必要が生じたときは、「農地バンク登録変更届」等を提出</p>	<p><b>変更届等の提出</b></p> <p>登録情報に変更や抹消の必要が生じたときは、「耕作希望者登録変更届」等を提出</p>
<p><b>条件等の交渉</b></p> <p>登録した農地を利用したい耕作希望者がいたときは、具体的な貸し借り・売り買いの条件などを、耕作希望者との間で交渉</p>	<p><b>条件等の交渉</b></p> <p>町が提供した農地所有者等の情報を基に、具体的な貸し借り・売り買いの条件などを、農地所有者等との間で交渉 ※町は、農地に関する当事者間の交渉や契約の媒介、代理をする行為には一切関与しません。</p>
<p><b>(契約) 権利設定</b></p> <p>耕作希望者との間で合意が形成されたときは、農地法または農業経営基盤強化促進法に基づき、契約等を含む権利の設定</p>	<p><b>(契約) 権利設定</b></p> <p>農地所有者等との間で合意が形成されたときは、農地法または農業経営基盤強化促進法に基づき、契約等を含む権利の設定</p>

■問合せ 役場産業振興課 ☎296-5895

## 特集 1

# その農地、農地バンクで活かさない？

～鳩山町版農地バンクを創設しました～



町では、耕作放棄地の発生を予防し、移住を含む多様な農業経営体の確保や担い手への農地集積による経営規模の拡大等を図ることを目的とした鳩山町農地情報登録制度（以下、農地バンク）を令和7年7月1日に創設しました。

農地バンク制度は、農地を「貸したい・売りたい」という情報と「借りたい・買いたい」という情報を町が広く収集・提供し、両者のマッチングを支援することで、効率的な農地の活用を図る制度です。登録いただいた情報は、「農地バンク台帳」によって町ホームページで公開していきます。また、農地の登録や耕作希望の登録を随時受付しています。農地の管理についてお困りの方、新しく農業を始めたい方など、ぜひ制度をご利用いただき、農地の活用にお役立てください。

## 対談 小川町長×飯島さん



▲小川町長と認定農業者の飯島さん

**農業の魅力とは？**  
飯島さん 私が見つけた野菜は地元で飲食店やスーパー、個人の方などに直接販売しています。買ってもらった方「おいしい」と言う声が聞けるのが嬉しいですね。

**新規就農に選ばれる町とは？**  
小川町長 飯島さんがおっしゃる通りで、作ったものがおいしいと言われることが一番嬉しいですね。私も農家ですが、お米などを作って「おいしい」や「また買うね」という声が聞けたり、リピーターになっていくのが嬉しいです。

飯島さん 鳩山町は私も主人も縁もゆかりもない土地でした。主人が都内に通勤していたので、東京にも通えて

新ストープ付の家も建てられる土地を探していました。土地を2年ぐらいい探して、スーパーや学校も近くにあって自然豊かなところ、そんな鳩山町の魅力に惹かれ移住しました。

地主さんが小さい畑を貸してくれただけで、始めは上手くいかないこともありましたが、おいしい野菜ができて、野菜が嫌いな子どもたちも食べてくれるようになり、家庭菜園を続けていくうちに「農業という職業もいんじゃないか」と思いました。

小川町長 鳩山町が選ばれる要因に、すぐ農業体験ができる、新規就農にシフトできることが挙げられると思います。自分の家の近くに畑があることが、鳩山町のいいところですね。

**経営を開始したときの課題は何でしたか？**  
飯島さん 野菜を育てるための土地探しです。知り合いの伝手をたどりながら畑を借りるのは、苦労しました。農業をやっていく上で機械を揃えたり、調製する場所など、畑以外にも必要な土地が増えていき、追加で土地を借りるのが大変でした。

小川町長 農業は畑があればできるわけではなくて、生産者視点で見たときに、作業場所や機械置場など、必要

### 飯島千春さん

10年前鳩山町に移住して、畑仕事の魅力に気づき、農業大学校へ入学。「ちはるファーム」を立ち上げて農業ライフを实践。

◀飯島さんが出荷しているネギ

な土地をそろえることはとても大変ですね。

**新しく農地バンク制度が始まります。どのように制度が活用できると思いますか？**  
飯島さん 私のように畑などを借りた人からしたら、いい制度だと思います。地元の方とコミュニケーションを取って畑を借りるのはハードルが高いと思います。

小川町長 家庭菜園など小さな形から始めて、新規就農に興味を持つたら飯島さんのように規模を拡大していくのもいいと思います。今後新しく農業を始めたい方、農地の管理に困っている方などがいらっしやいましたら農地バンクを活用していただければと思います。